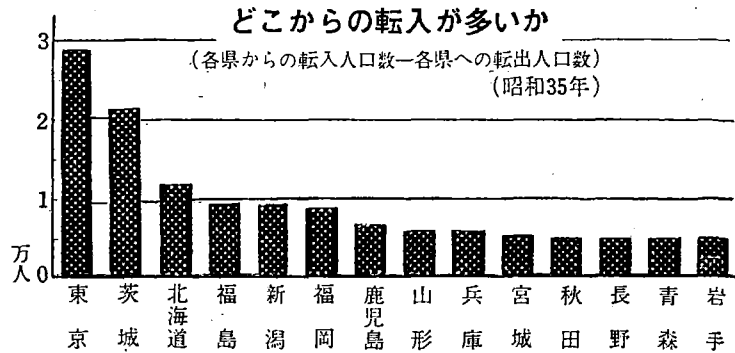


## 12. 他府県との人口移動数

人口の社会移動状態をみると、本県と他県間の転入、転出は昭和31年までは転出が転入より大きく、いわゆる人口赤字の状態であったが、32年以降は転入超過に転じた。この状態を地域別にみると国電沿線および東京湾に面した県北西部は東京都への通勤に便であるとともに

住宅地の造成により住宅の増加、企業誘致による従業員の増加等で流入人口が著しく増え、その他の農村地域では逆に流出人口が目立っている。



年・都道府県別	転入	転出	差引増減	都道府県別	転入	転出	差引増減
昭和29年	57 343	69 177	△11 834	岐阜	362	207	155
30	56 865	62 582	△ 5 717	静岡	1 336	1 085	251
31	55 981	61 896	△ 5 915	愛知	768	846	△ 78
32	66 330	64 455	1 875	三重	214	195	19
33	69 552	67 320	2 232	滋賀	151	62	89
34	70 016	66 243	3 773	京都	446	196	250
<b>35</b>	<b>86 883</b>	<b>69 710</b>	<b>17 173</b>	大阪	982	909	73
北海道	2 180	880	1 300	兵庫	1 288	672	616
青森	863	346	517	奈良	154	64	90
岩手	792	275	517	和歌山	142	94	48
宮城	1 075	505	570	鳥取	297	38	259
秋田	792	265	527	島根	165	46	119
山形	1 006	382	624	岡山	226	150	76
福島	1 630	628	1 002	広島	614	264	350
茨城	4 528	2 319	2 209	山口	519	211	308
栃木	1 127	633	494	徳島	109	83	26
群馬	971	564	407	香川	179	82	97
埼玉	2 681	3 218	△ 537	愛媛	284	122	162
東京	48 277	45 375	△ 2 902	高知	138	71	67
神奈川	4 398	6 038	△ 1 640	福岡	1 414	490	924
新潟	1 506	517	989	佐賀	461	68	393
富山	278	144	134	長崎	618	162	456
石川	278	136	142	熊本	496	154	342
福山	158	48	110	大分	341	105	236
山梨	463	250	213	鹿児島	212	91	121
長野	962	442	520	鹿儿岛	1 002	278	724
				国	106	—	106
				従前の住所無し	1 106	—	1 106

統計課調 (注) 総数は「国外」「従前の住所無し」を除いた数である。